

神話スライドset シリーズ

# ふたりのケンタウルス

スライド枚数 : 14枚  
時間 : 5分20秒  
イラスト : 高部 哲也  
ナレーション : 長谷 由子

**LIBRA** CORPORATION

+音始まり



1. むかしむかし、ギリシャには、ケンタウルス族、という奇妙な姿の種族がありました。

このケンタウルス族は、そろいもそろって、乱暴で、野蛮な一族でした。



2. ところが、その中で、ケイローンとポロスの二人だけは、賢くて正しき心をもった者たちでした。それもそのはず、そもそもケンタウルス族は、神を冒したテッサリア王イクシオンの子孫ですが、ケイローンは、神々の王ゼウスの父親であるクロノスが海の神オケアノスの娘であるピリュラを愛して生まれ、一方、ポロスは、酒の神バッカスの育ての親であるシーレーノスと、とねりこの精メリアスの間に生まれた、神の血を引くものたちだったのです。特に、ケイローンは、知性にあふれ、また医術や武術にも優れていたため、みずからの学校を作り、多くの英雄を育て上げました。



3. そのうちの1人が12の荒行で有名なヘルクレスだったのです。



+音変わり



4. ヘルクレスが、12の荒行のうち、化けじし退治、ヒドラ退治、鹿の生け捕り・・・と三つの仕事を終えた後のこと。

4番目の荒行のいのしし退治も友人のポロスの道案内で首尾よく終えて、二人は、楽しく、酒を酌み交わしていました。

そのとき。

5. SE ドドドドド (たくさんの蹄の音)

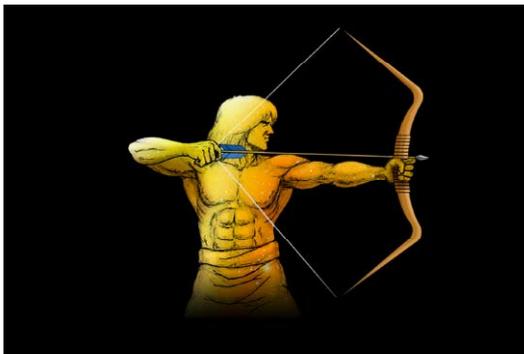
荒くれもののケンタウルスたちが、酒のにおいをかぎつけて、押し寄せてきたのです。

しかし、ヘルクレスも、黙ってはいません。



6. ヒドラの毒を塗った弓矢で応戦しました。

そこにいたのが、ヘルクレス、と知ったケンタウルスたちは、とてもかなわない、とすぐに逃げ出しました。

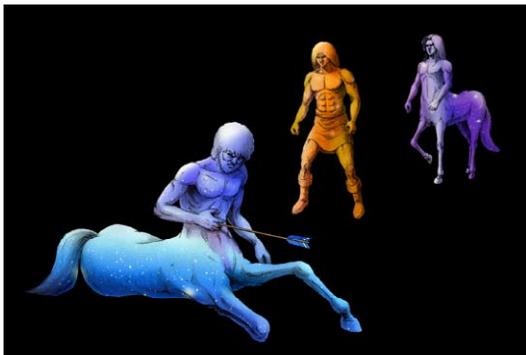


7. しかし、怒りの収まらないヘルクレスは、後を追ひ、ケンタウルスたちの逃げ込んだ洞窟へ、弓を構え、矢を放ったのです。

SE ビシュ!

+音終わり





8. とどめをさそうと、洞窟に入っていったヘルクレスとポロスの見たものは・・・。

+音始まり

ヘルクレスが師と仰ぎ、またポロスが友人として親しんだ、ケイローンが、弓矢の毒で苦しむ姿でした。ケンタウルスたちが逃げ込んだその洞窟こそ、ケイローンの住処だったのです。

「せんせい！ああ、私はなんていうことを・・・。」  
悔やむヘルクレスにケイローンは、苦しい息の下から言いました。



9. 「気にするな。これも運命だ。

それよりも、お前には、やらなければならないことが、あるはずだ。

私のことを嘆くよりも、世のため人のため、なすべき事を果たすのだ。」



10. ケイローンは弟子に残すべき言葉を言い終わると、不死身の体を返上し、天に召されました。

11. そして、さらに不運が重なります。

何気なく毒矢を拾ったポロスが、誤って落とし、足に刺してしまったのです。

ヘルクレスは、最愛の師と友人を一度に失ってしまったのでした。





## 12. +音変わり

その後、ヘルクレスは、ケイローンが残した言葉どおり、立派に12の荒行をなしとげました。

神々の王ゼウスは、その功績をたたえ、ヘルクレス座として、天にあげました。



## 13. そして、ケイローンとポロスもまた、星座となったのです。

ケイローンはいて座に。

ポロスはケンタウルス座に。

+音終わり

